



鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 FAX:0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ

鎌倉市議会

検索

メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会



令和8年(2026年) 6月定例会(6月3日～7月16日)

副議長、常任委員会等の委員構成が決定

●定例会の概要

- ・6月定例会では、副議長の選挙を行ったほか各常任委員会等の委員構成を変更しました。また、21名の議員が一般質問を行いました。
- ・市長提出議案として、条例関係議案4件、補正予算議案3件、専決処分承認議案1件、その他議案3件を可決し、教育委員会教育長、教育委員会委員、固定資産評価員、公平委員会委員および農業委員会委員の人事議案に同意しました。
- ・議員提出議案として、「特別自治市構想の法制化及び推進に関する慎重な議論を求める意見書の提出について」「企業版ふるさと納税の適用拡大を求める意見書の提出について」および「議会棟パネル板設置及びネームプレート等購入に関する調査特別委員会の設置について」を可決、動議として「中澤克之議長への議長職の辞職勧告動議」を可決、「地方自治法第98条第2項の規定に基づく監査請求についての動議」を否決しました。
- ・陳情2件を不採択としました。

●定例会の主な動き

本会議(6/3～5、8、9、15～17、7/3、7、8、13、14) …… 副議長の選挙、一般質問、議案上程、委員長報告、採決(2面～4面、6面)
各常任委員会(6/16、19、23、7/1、13、15) …… 議案、陳情審査等(5面)
本会議(7/15～16) …… 議案上程、委員長報告、採決(6面)

6月定例会の経過

当初、会期を6月3日から19日までの17日間と決定した6月定例会は、一般質問の途中で休憩に入る等の事情により、7月16日まで会期を27日間延長して審議を行いました。
44日間にわたる会期中でどのようなことが行われたのか、会期中の動きをお伝えいたします。

開会

6月3日
本会議(副議長選挙など)

6月定例会が開会し、副議長選挙および委員会の所属変更を行った。台風6号の接近のため、一般質問は行わず延会とした。

6月4日、5日、8日、9日
本会議(一般質問)

一般質問を実施。
6月9日、津野てるひさ議員が、県有地を流鏑馬教場として転貸していた件について一般質問を行ったところで休憩に入り、その後延会した。

6月15日～17日
本会議(議案の上程) 各常任委員会
本会議(議案の採決、会期の延長)

市長側の答弁に時間がかかる見込みで一般質問を再開するめどが立たず、6月中に議決する必要のある議案を先に審議することとした。また、会期を7月16日まで延長するとともに、6月24日から二子市において、鎌倉市との姉妹都市提携60周年を記念した公務が予定されていたことなどから、本会議再開は7月3日とした。

7月3日、7日、8日、13日、14日
本会議(一般質問)

7月3日、本会議を再開。なお、流鏑馬教場については、別の場で改めて答弁する旨、市長から発言があり、津野てるひさ議員の一般質問を再開した。

7月15日～7月16日
本会議(議案の上程) 各常任委員会
本会議(議案等の採決)

7月15日、本会議において議案の上程。その後、本会議を休憩し、各常任委員会を開催。委員長報告の後、議案等の採決を行った。最後の日程に入る前に「動議」の声が上がり休憩に入るが、本会議を再開できず、日が変わった午前0時をもって当日の会議は流会。
7月16日、午後5時に本会議を開いたが、議事日程の審議に入る前に「動議」の声が上がり、休憩に入る。その後、本会議を再開できず、会議規則で定める会議時間である午後6時をもって流会となった。
なお、陳情27件が廃案、報告事項5件が未報告となった。

流会

【予告】今年度も議会報告会を開催します

鎌倉市議会は、今年度もより多くの市民の声をお聴きするため、人が集まるイベント会場に出向いて、議会報告会を開催します。秋ごろに開催予定ですので、詳細が決まり次第、鎌倉市議会のホームページにてお知らせいたします。皆様の参加をお待ちしております。



昨年度の議会報告会の様子
(山崎浄化センタースポーツ等広場)

【次回の定例会開会予定日】9月定例会：9月2日(水) ※開会予定日は、変更となる場合があります。

※本号で記載している職名は、6月定例会終了時点のものです。
※本号は8月1日に発行を予定していましたが、6月定例会の会期が延長されたため9月1日発行としました。

かまくら議会だよりは、温室効果ガス排出削減のため、古紙含有率100%の再生紙にCO₂発生を抑制した植物油インキで印刷しています。また、ユニバーサルデザインフォントを採用し、見やすい紙面づくりを行っています。

R100
古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

VEGETABLE
OIL INK

UD
FONT

一 般 質 問

主な質問と答弁

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにただすものです。6月定例会では21名の議員が一般質問を行いました。
一般質問の全文は、9月下旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

鎌倉駅前屋外広告物にみる鎌倉の景観

ゆめみらい

前川 綾子



質問…令和3年に制定した鎌倉市屋外広告物条例、県条例との差は。
都市調整部長…鎌倉駅周辺を古都鎌倉特定地域に指定し、電光表示装置や屋上広告物を規制した。また、エリアマネジメント広告を一定内で可能とし地域の活性化に資するものとした。
質問…色彩や明るさなど景観上問題があると思われる広告物が掲出されているが、デザイン協議はどのように行ったのか。
同部長…市の景観計画に定める景観への配慮事項に基づき事前協議を行った。
質問…2月の建設常任委員会で事業者と協議を続行すると答弁されているが、いかがか。
同部長…事業者に対しては景観へのさらなる配慮を求めるべく要請を行っている。

その他の質問:課題のある子への支援について、かまくらっ子発達支援サポーターの配置、幼こ保小の一体的支援体制の重要性



ロット番号ET3674のワクチン死亡率46.4%

公正と法

長嶋 竜弘



質問…ワクチン接種者の平均死亡率は4.9%、未接種者の平均死亡率は3.8%、ワクチン接種者は1.1%平均値で死亡率が高い。そしてET3674のロット番号の見かけ死亡率46.4%、特定のロットに死亡者数が飛びぬけて出ていますが、分析しないでほっとおいていい話ではないと思います。市長どうでしょうか？
市長…ほっといていいかどうかにかましても市として評価できるものではないというところでございます。各個人の基礎疾患の有無、感染状況の有無、死因も不明であるところがあるというふうに思っております。
質問…市長はこれを見ておかしいと思わないのですか。
市長…これだけ数値が違うのは誰が見ても明らかですからなんかしらの理由があると思います。分析をして市としてこれがこうだと申し上げられる分析はできないという風に考えています。



ケアマネジャーの処遇改善について

公明党

岸本 都美代



質問…頼れる身寄りがいない高齢の方に対し、制度上必ずしも明確でない中で、その支援の役割を果たしてこられたケアマネジャー等の業務軽減について、本市としての考えを伺う。
健康福祉部長…法定外の業務に関しては、大きな負担となっている事を承知しており、人材の定着からも対策が必要と認識している。
質問…ケアマネジャーは、法律に規定された国家資格として位置づけられていることについて、地位向上を目的に、広く周知を行って頂きたい。
同部長…介護人材の確保、定着の意味からも、介護に関わる方の地位向上は重要であると考え、法的な位置づけも含めその労務についても皆様に広く知って頂く取り組みを継続して参りたい。

その他の質問:補聴器購入支援について、肺炎球菌ワクチン推奨について



交通対策について 外出しやすい環境面で

日本共産党

吉岡 和江



質問…交通不便地域等解消に向けては公共ライドシェアの方針であるが、バス便が減って困っている声にはどのように対応するのか。
都市政策部長…バス減便は運転手不足が大きな要因。運転手の採用支援に寄与する取り組みを実施していきたい。
質問…鶴岡市の例では公共交通を利用する市民に補助を出す、バス停を増やす、バスの大きさを変え、小さなバスを出す、結果乗降客が増えた。全体にプラスになるような施策が必要ではないか。
同部長…現時点では、市民に対して助成を行うことは考えていない。その一方で公共交通の利用促進は環境面でも重要。路線バスの利用促進、定時性の確保、乗りやすさの向上など公共交通の促進を図りたい。

その他の質問:○健康づくりについて（加齢性難聴問題）○公共施設再編計画の見直し（深沢市庁舎の公設公営から民設民営問題）



民泊以外の新たな滞在型事業への対応について

公正と法

津野 てるひさ



質問…民泊と異なる新たな滞在型事業が市内で営まれ、住民から騒音などで苦情が寄せられていることを認識しているかを伺う。
政策部長…滞在型施設によるゴミの出し方などへの苦情は、対応しているところである。
質問…この事例は令和6年12月議会で採択された、陳情第39号『極楽寺二丁目（滞在型国際交流施設）の陳情』に酷似した事例であり、先の陳情が全会一致で採択された経緯を踏まえれば、鎌倉市で前例に倣った対応を取ることが可能か伺う。
同部長…相談内容により対応は異なるが、住民からの相談には丁寧に対応していく。

その他の質問:鎌倉市・神奈川県・大日本弓馬会の間での契約に関する一連の経緯



生活と交通について

鎌倉前進

上野 学



質問…鎌倉市交通マスタープランに掲げている駐輪場の整備として、令和8年度はどのような取り組みを行うのか伺う。
都市政策部長…大船駅西口の仮設駐輪場整備、大船駅東口自転車駐車場の再開に向けた修繕工事着手、西鎌倉駅の駐輪場整備などを予定している。
質問…鎌倉市交通マスタープランと鎌倉市地域公共交通計画は、目標とする評価指標が数値になっていないものが多いため、数値を掲げて目標を明確にすることが必要と考えるがいかがか。
同部長…計画見直し時やそれ以前も含めて、施策や目標の達成状況の推移を見極め、数値目標に切り替えたい。

その他の質問:いじめ重大事態にかかる調査報告書を受けた対応について、深沢地域整備事業について



公共交通政策について

鎌倉前進

大石 香



質問…藤沢市の善行ではワンボックス型の乗合自動車が地域の足として運行されているが、本市でも同様の取組を実施する考えはあるのか伺う。
都市政策部長…今後新たな地域公共交通の導入を検討する際には、地域の声や実情を踏まえた上で選択肢の一つとして検討してまいりたい。
質問…国の補助金を活用し、大船駅から湘南アイパークまでの区間において自動運転バスの実証実験を実施し、そこで得られた知見を深沢地区での実装に繋がれると良いと考えるがいかがか。
市長…深沢地区での実装は、しっかりと行っていくべきと考えている。各業者とも連携をして調査研究をしっかりと進めてまいりたい。

その他の質問:公共のトイレ事情について、若者の孤立を防ぐ包括的支援について



中長期財政計画の策定・公表について

鎌倉前進

加藤 千華



質問…今後、鎌倉では、深沢のまちづくり、新庁舎整備、公共施設再編、下水道のインフラ更新など大規模事業が控えております。また、昨今は金利上昇局面であり、利払い負担の増加も顕在化しております。財源不足に陥らないか心配する声もある中で、数字を根拠にした建設的な説明・議論が市民・議会とできるよう、金利や物価上昇のリスクシナリオも含めた十数年を見据えた中長期財政計画を早急に策定・公表すべきと考えますが、いかがでしょうか？

総務部長…大規模事業においては特に計画の可視化、進捗・成果の共有が市民の理解・納得感につながる。他市の事例も参考にしながら、今後の財政見通しを含め、わかりやすい情報発信に取り組みます。

その他の質問:これからの夏は危険な暑さが続く。タクシーの長蛇の列に並ぶ高齢の方への暑さ対策を講じるべき



路面下空洞調査について

自民党

志田 一宏



質問…現在、実施している調査対象に子供たちが安心して移動できるよう幼稚園バスが走行する市道や通学路など調査対象を拡充してほしい。

都市整備部長…令和8年度から、これまでの路線に加え陥没が発生した場合に交通への影響が大きい主要幹線道路や、地盤条件等から陥没リスクが高いと考えられる河川沿いの道路などへ拡充する予定である。これらの路線の中で、幼稚園バスの走行ルートや通学路などがあれば、子供たちの安全確保の観点において、優先的に対象としていく。

その他の質問:これからの行政サービスについて



泣塔等鎌倉の信仰空間と町。／災害時と有事。道路状態

無所属

松中 健治



質問…泣塔周辺の伐採に私は思う。鎌倉は社寺、^{ほうきよういんとう}宝篋印塔、塚、墓塔、やぐらが多い。結界に囲まれた聖なる霊性を感じさせる聖域の町。人々が親しんでいる鎮守、怨霊鎮魂、五穀豊穰等を祈る場が散在している。これらの精神文化を重んじて世界遺産登録に再挑戦を。

市長…泣塔の遺構を崩落から守るための措置など慎重に整備を進める。世界遺産登録に向けては継続して取り組んでいく。

質問…明治期から変化がない道路網は災害対策などの都市機能として脆弱。第一中学校法面整備、釈迦堂口の再開の進捗を伺う。

都市整備部長…第一中学校通学路の法面整備工事、釈迦堂口に至る道路工事は、令和8年度中に完了予定である。

その他の質問:瀬戸橋仮設柵撤去、134号線陥没修理、深沢地域整備事業のシンボル道路の進捗、源氏山のぬかるみ対策について



深沢地域整備事業について

鎌倉前進

岡崎 修也



質問…整備手法が見直される新庁舎整備事業について。施設の整備・運営には、公設公営の他にも、指定管理、PFI、DBOなど複数の手法があるが、整備手法や民間活力についてどう発信していくか。

都市調整部長…今後設置を予定している新庁舎整備検討委員会における議論の過程を基本的に公開で行っていく。

質問…深沢の事業用地の一部をまちづくりに向けた交流拠点として暫定利用していく考えがあるか。

都市政策部長…基盤整備の工事展開を考慮しつつ、令和8年秋頃を目途としている事業スケジュールの確定後に検討していく。

その他の質問:市内における熱中症対策について、スポーツ政策について



業務のデジタル化(DX化)について

無所属

細川 まなか



質問…手続きのオンライン化の実施状況は。

政策部長…国指定の子育て・介護関連26手続き、及び年間申請100件以上のオンライン化可能な市民向け113手続きのうち102が完了。

質問…既にオンライン化している申請についてオンライン化率は。

各部長…各課で管理をしており1%未満～100%。

質問…デジタル戦略課が指揮を執り、利用率の調査や課題分析をしながら、全庁的にDX化を進めていく必要があると考えるが如何か。

政策部長…全庁的に見直しや改善を進められる体制を整えていく。

質問…市長のデジタル化に対する考えと、今後の方針は。

市長…働き手不足解消と業務効率化にDXの推進は不可欠である。

その他の質問:認可保育園の利用状況について(待機児童等)、介護認定にかかる日数について、街区公園への犬の立ち入りについて



災害時対応型公衆トイレの導入に関して

公明党

児玉 文彦



質問…災害時にも安心して利用できる循環型公衆トイレを設置することは、市民だけでなく鎌倉に来られる国内外の観光客の命と健康を守る大切な課題であり、国内を代表する観光都市としての責務と考える。特に女性にとっては切実な問題。市民に寄り添い、必要な備えを形にする地道な取り組みこそ行政の役目と考える。松尾市長の考えを伺う。

市長…多くの観光客が来られる鎌倉では災害時に利用できる公衆トイレ環境がまだ十分に整っていないと認識している。観光客受け入れ体制の向上に資することから、今後研究を進め、必要な備えをひとつひとつ着実に形にできるよう努力していく。



関心高まる包括的性教育について

立憲

中村 てつや



質問……性被害者・性加害者にならないために、自分や他者を大切にする観点から包括的性教育は大変重要であるが、いかがでしょうか？

学びみらい部長…包括的性教育は生物学的な側面に留まらず、個人がより健全で幸せな生活を送るのに重要であると考えています。

質問…養護教諭等の専門性の高い職種との連携は必要と思いますか。

同部長…専門性のある方々との連携は大変重要と考えています。さらなる連携に向けて検討していきます。

質問…包括的性教育について教育長の考えを伺います。

教育長…子ども達が自分自身で心や体を大切にすることを学ぶためにも、包括的性教育の観点は重要であると考えます。

その他の質問:外出困難者の支援について、教育と福祉の連携について



大船駅周辺の騒音や客引き等の改善について

公正と法

重黒木 優平



質問…昨年及び本年、パチンコ店の新規出店があり、既存店舗を含む店舗間競争の激化に伴う騒音や客引き、飲食店等の客引きにより治安が悪化している。警察との情報共有及び連携を強化すべきである。

市民防災部長…4月開催の防犯連絡会において、道路上での客引き行為に対する注意等を要望したところであり、今後も引き続き対応を要望していく。

質問…夜は歩くのを避ける、諦めて引っ越しをした等の意見が寄せられている。今後、改善に向けてどのように取り組むのか伺う。

市長…大船の皆さんとの意見交換を継続しながら、安全安心な街を目指し、取り組みを進めていく。

その他の質問:歳入確保について、スポーツ施設の公平な利用について、コロナワクチンの予診票の保管期間延長について、など。



不登校児を持つ保護者離職という課題について

無所属

藤本 あさこ



質問…共働き世帯においては子どもが「学校に行かない」となった瞬間に生活が行き詰まる。不登校は子どもだけの問題ではなく大人や社会を含めた課題になっていることを認識しているか。

市長…全庁的、社会全体として取り組むことが重要ととらえる。市長部局と教育委員会とで連携して部局横断で、子どもだけでなく保護者支援も充実できるように進めていく。

質問…子どもが不登校になった際に、育児休業のような制度を市内企業に整備していただくよう提案できないか。

文化観光部長…企業の先進的な取組事例を市内事業者に広く紹介するとともに、実態把握のため不登校を理由にした休暇や短時間勤務の現状調査を検討していく。

その他の質問:鎌倉市における性犯罪に対する姿勢について、鎌倉市の共生社会について



玉縄と大船のまちづくり等

立憲

岡田 かずのり



質問…玉縄青少年会館の今後の見通しはどうか。

都市調整部長…公共施設再編計画で令和8年度中の方針決定を予定。

質問…大船駅西口の駐輪場確保の取り組みはいかがか。

都市政策部長…未利用の駐車場地権者と話し合いを考えている。

質問…特養老人ホームなどの入所する時の空き状況の確認を、インターネットを使って簡単に確認できるようにしてもらいたい。

健康福祉部長…リンク先を工夫するなど考えていく。

質問…市役所の新設や区画整理事業など含めてどう考えるのか。

市長…財政推計を考えて、その範囲内で整備をしていく。

その他の質問:①大船観音前マンション建設跡地問題 ②砂押川上部駐輪場問題 ③ChatGPTなどAIの活用と仕事量の削減など



エアコン購入補助/収蔵品の津波対策は十分か

日本共産党

武野 裕子



質問…2027年問題で低価格帯エアコンが消滅し価格が高騰する見通し。猛暑での未設置は生命の危険があり、まず低所得者の設置状況を調査し、購入費補助を検討すべき。

健康福祉部長…低所得者へのエアコン補助は考えていない。国、県、他の自治体の動向を注視する。

質問…中央図書館の地下には、貴重な資料、収蔵品が置かれている。津波被害が想定されているが、収蔵品の退避については？

市長…(市役所現在地を建替え)移設をしていくという考え方。その間も津波被害はあり得る。中央図書館の方で優先順位をつけながら対策を講じている。

その他の質問:○デジタル社会と個人情報保護の保護 ○いのちのとりで裁判 ○住宅支援 ○埋蔵文化財・公文書館 ○真の歴史文化都市目指し



特別市構想と本市の将来について

ゆめみらい

小野田 康成



質問…国や政令指定都市において特別市構想の議論がなされているが広域行政の分断や、財政面への影響が懸念される。本市にどのような影響があると分析しているのか、また市の基本的見解を伺う。

政策部長…広域行政の分断という面では、これまで一体的に行われてきた医療・教育・広域的なインフラ整備や水源環境保全等の住民にとって必要不可欠なサービスの維持・確保が困難になることが想定される。

財政面への影響については、県税収入の6割程度が、政令指定都市からの収入であると示されている。本市に対する具体的な影響額については現時点で明らかになっていない。本市としては、財政面に限らず、広域行政や市民生活への影響を含め、動向を慎重に注視していく必要があると考えている。



移動支援・移動販売を活用した支え合い

ゆめみらい

日向 慎吾



質問…日常の買物環境の確保は交流の場、賑わい創出、地域の活性化にもつながるが、買物支援と買物の場の創出について市の考えは？

市長…住み慣れた地域の中で困難さを抱えることなく、自分らしく生活できる環境を市民が主体となって作っていくことは、困難の解決のみならず、その地域の活性化や魅力創出につながるものである。地域が必要とする市の支援のあり方を含めて検討していく。

質問…外出支援策について、高齢者の多様なニーズに応じた選択制・組み合わせ自由の支援メニューを検討・導入する予定はあるか。

健康福祉部長…ニーズが多様化していると認識しており、今後の施策を検討する中で、支援の手段の一つとして研究していく。

その他の質問:移動販売への支援、福寿優待サービス事業の取組を強化、鎌倉高校前駅周辺の安全・生活環境改善に向けた対策



こどものSOSを受け止める環境づくりについて

公明党

水上 武史



質問…本市のすべての小中学校で、SOSの出し方に関する教育を実施していくべきであると考えているが、見解を伺う。

学びみらい部長…今後は、中学校在籍期間中に必ずどこかで受講できるよう調整したいと考えております。

質問…改正自殺対策基本法に基づく法定協議会を設置すべき。

健康福祉部長…自殺対策計画推進庁内検討会において協議していく。

質問…すべての市職員が自殺対策に関する研修を受講するべき。

市長…職員研修などと連携したゲートキーパー養成講座の実施についても検討してまいりたいと考えております。

その他の質問:高次脳機能障害の理解促進と生活支援について



深沢地域整備について全員協議会を開催

5月28日、深沢地域の土地区画整理事業と、そこでの整備を予定している新しい庁舎について、市長から報告があり、質疑が行われました。

(報告の概要)

現在、世界的な物価の高騰や深刻な人手不足により、建設工事の費用が大幅に上がっており、深沢地域の土地区画整理事業にかかる費用は、当初の予定より約95億円増える見通しとなりました。さらに、新庁舎の建設費も、これまでの試算の約140億円から約300億円近くまで増加する可能性が示されました。このまま進めると、将来の市民の皆様に大きな負担をかけてしまう恐れがあるため、市は現在の計画から一旦立ち止まり、見直すことを決めました。今後、民間の知恵や力を借りるなど、負担を減らす工夫を検討しており、専門家を交えた検討委員会を速やかに設置し、令和8年度中をめどに新しい整備手法の方向性を取りまとめる予定です。



議員からは、「市民の皆さんの負担が大きくなりすぎないか」「これまでの準備が無駄にならないか」といった、将来を心配する質疑がありました。また、「具体的な数字やこれからの見通しを、隠さず分かりやすく説明してほしい」という要望が出されました。

6月16日、19日、7月15日開催 審査した内容(議案2件、報告事項9件、陳情2件)

報告事項 第4期鎌倉市観光基本計画について

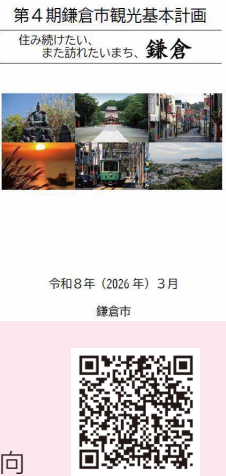
本計画は、本年3月に策定され、計画期間は令和8年度から令和17年度の10年間としており、計画の基本理念は「住み続けたい、また訪れたいまち、鎌倉」であり、単に観光客を増やすのではなく、市民生活との調和や持続可能性を重視する観光への転換を目指すとのことです。

主な内容としては、地域の混雑を緩和する「オーバーツーリズム解消に向けた取組」や、日本遺産を活用し特定の場所への集中を防ぐ「分散型観光の推進」などを実施するとのことです。

また、受入環境整備などの安定した財源確保のため、観光旅行者にも応分の負担を求める宿泊税等の仕組みの導入についても触れられており、本件については、令和8年(2026年)9月定例会に条例議案を提出する予定とのことです。

委員会では、報告事項について了承しました。

委員：森(委員長)、吉岡(副委員長)、大石、津野、児玉、日向



6月16日、7月15日開催 審査した内容(議案4件、報告事項4件)

議案第4号 物件供給契約の締結について

本議案は、平成26年(2014年)に構築した消防救急デジタル無線活動波設備について、運用開始から12年を迎えたことから、全面更新をするため、同設備の供給契約を三峰無線株式会社西関東支店と契約金額3億5178万円(消費税額等含む)で一般競争入札の方法により締結しようとするものです。

消防救急デジタル無線活動波設備とは、消防車両に搭載する車載型無線装置(左下図)、隊員が携行する携帯型無線機(右下図)、基地局設備、アンテナ設備等で構成される設備で、消防隊や救急隊が災害現場で安全かつ確実に連絡を取り合うための無線設備であるとのことです。

また、主に出動中や現場活動中に指令情報課と情報共有を行うために使用するものとのことです。

委員会では、総員の賛成により可決しました。

委員：重黒木(委員長)、岡田(副委員長)、加藤、中澤、松中、中村(聡)



観光厚生常任委員会

常任委員会

審査の一部を紹介します

総務常任委員会

建設常任委員会

教育こども常任委員会

6月16日、7月1日、13日、15日開催 審査した内容(議案3件、報告事項6件、陳情7件)

報告事項 鎌倉市交通マスタープランの改定について
鎌倉市地域公共交通計画の策定について

●**鎌倉市交通マスタープラン** については、平成16年(2004年)の改定以降、交通を取り巻く環境が大きく変化したことを踏まえ、本年4月に改定したとのことです(計画期間は、令和8年度～令和27年度の20年)。

交通マスタープランでは、「都市交通の将来像」として、「誰もが過度な負担なく、安全で快適な交通行動が実現できる社会」と掲げており、その実現に当たっては「円滑な移動」「安全・安心な暮らし」「拠点の賑わい」「環境負荷軽減」の四つの視点で交通政策を進めていくとのことです。

●**鎌倉市地域公共交通計画** については、昨今の高齢化の進展や生活様式の変化など、地域公共交通を取り巻く環境の変化等を背景に、地域の交通環境の向上や移動手段、交流促進に資する公共交通サービスの実現を目標として、本年4月に策定したとのことです(計画期間は、令和8年度～令和12年度の5年)。

本計画では、市内の自由な移動と交流を促進する公共交通サービスの形成を基本方針とし、「地域公共交通ネットワークの充実」「公共交通の利用促進」「安全・安心な移動の実現」の三つを目標に掲げ、取り組みを進めていくとのことです。

委員会では、いずれの報告事項についても了承しました。

委員：岸本(委員長)、長嶋(副委員長)、上野、小野田、武野、池田



6月16日、23日、7月15日開催 審査した内容(議案1件、報告事項8件、陳情1件)

議案第7号 鎌倉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の保育料等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

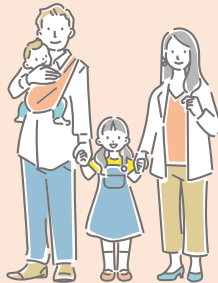
本議案は、第一子と第二子の年齢差による制度上の差異を解消し、多子世帯の経済的負担を軽減することで、子どもを産み育てやすい環境を整備するため、認可保育所等における第二子以降の保育料を無償とするよう、条例を改正するものです。

現行の制度では、3歳児クラスから5歳児クラスについては認可保育所等を利用する児童の保育料は無償、0歳児クラスから2歳児クラスについては、保育料を徴収しており、所得要件や第一子の年齢要件などの条件に該当する場合については、同一生計の児童のうち2人目以降から保育料を無償としています。

このたびの改正により、この所得要件や第一子の年齢要件をなくし、全ての世帯について、第一子が小学校に進学しても、同一生計の2人目以降の児童の保育料が無償となるもので、保育料の切り替え時期に合わせ、本年9月から施行するとのことです。

委員会では、総員の賛成により可決しました。

委員：前川(委員長)、藤本(副委員長)、細川、水上、岡崎、中村(て)、志田



可決した意見書

● 特別自治市構想の法制化及び推進に関する慎重な議論を求める意見書 ●

現在、指定都市市長会などを中心に道府県から独立して二重行政を解消し、一元的に全ての事務を担う「特別自治市構想」の実現に向けた要望や法制化への動きが進められている。大都市における行政の効率化や意思決定の迅速化、ひいては住民サービスの向上を目指すという大都市側の趣旨や危機感については理解できる部分もある。しかしながら、本構想の実現が周辺自治体や県全体の行財政及び広域的な住民福祉に及ぼす影響は極めて甚大であり、いまだ多くの課題や懸念が解消されていない。特に以下の点において極めて重大な懸念を抱かざるを得ない。

1 税収の偏在と広域自治体(県)の財政基盤への深刻な影響

富源が集中する指定都市が県から完全に独立した場合、県の税収は大幅に減少する。一方で、県が担うべき広域的なインフラ維持、過疎地・中山間地域への支援、防災対策などの負担は相対的に増大し、大都市周辺の市町村や県全体の財政基盤が著しく弱体化するおそれがある。

2 広域的な行政サービスの分断と地域格差の拡大

医療、公共交通、産業振興、環境対策など、今日の行政課題の多くは一自治体の境界を越えた広域的な連携を不可欠としている。大都市のみが独立した行政主体となることで、これまでの県と市町村による緊密な連携が分断され、地域間における住民サービスの格差や、いわゆる「都市部と周辺部の二極化」を助長しかねない。

3 住民への十分な説明と合意形成の不足

本構想は、単に一つの都市の制度変更にとどまらず、国・県・市町村の在り方を根本から変える「地方自治制度の大改革」である。しかしながら、大都市圏以外の住民や周辺自治体に対して、その影響や不利益に関する具体的な情報開示や説明は極めて不十分であり、国民的・住民的な合意形成がなされているとは言い難い。

地方自治の根幹は、一部の都市の利便性のみを追求するものではなく、地域全体の均衡ある発展と、全ての住民の安心・安全な暮らしを保障することにある。よって、政府及び関係機関におかれては、大都市側の主張のみに偏ることなく、周辺自治体や県全体の行財政に与える影響を多角的に検証し、地方自治の本旨に基づいたより慎重な話し合いの元に議論を進められるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年(2026年)7月15日

鎌倉市議会

● 企業版ふるさと納税の適用拡大を求める意見書 ●

企業が地方公共団体の地方創生事業に寄附を行うことで法人関係税の控除を受けられる「企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)」は、地域の自立的発展を後押しする重要な制度である。

しかし現行制度では、地方交付税不交付団体は制度の対象外とされており、企業側に税額控除が適用されない。このため、企業が不交付団体へ寄附を行うインセンティブが働かず、制度の趣旨である「地域の創意工夫を支える財源確保」が十分に機能していない。鎌倉市は不交付団体であるが、歴史文化財の保全・修復、観光インフラの維持管理、子育て・教育環境の充実、気候変動に対応した防災・減災対策など、地方創生に資する施策の必要性は他自治体と同様であり、むしろ観光都市としての役割を果たすため、安定的かつ多様な財源確保の手段が不可欠である。

また、不交付団体であることは「財政に余裕がある」ことを意味するものではなく、交付税による財政調整の枠外に置かれることで、外部財源の確保手段が限られるという構造的課題を抱えている。企業版ふるさと納税の適用拡大は、こうした自治体の自立的な地域経営を後押しする制度的整備として極めて有効である。

よって本市議会は、国に対し、地方交付税不交付団体にも企業版ふるさと納税を適用できるよう制度を見直すこと、または同等の効果を持つ新たな財政支援措置を講じることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年(2026年)7月15日

鎌倉市議会

○：賛成 ●：反対
退：退席 欠：欠席 除：除斥

※令和8年(2026年)6月3日付で「公明党鎌倉市議会議員団」の代表者は児玉文彦議員に、「夢みらい鎌倉」の代表者は小野田康成議員にそれぞれ変更。

6月定例会では、市長から28件、議員から3件の議案が提出されました。主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

議会広報委員長 中村 てつや